

全国のモニターを対象にペットの健康診断についてアンケート調査を行いました。

その結果、昨年 1 年間に健康診断を受けたペットは全体の約 35%で、どうぶつ種別では、うさぎの受診率が 40%と最も高いことがわかりました。

「健康状態を確かめるだけでなく、獣医さんから飼育方法についてアドバイスをもらえるのでとても役立つ」という声も聞かれ、犬の飼い主のように散歩仲間との情報交換が出来にくいうさぎの飼い主は、健康診断を獣医師との定期的なコミュニケーションと捉え、健康診断時に様々な情報を受け取っているようです。

また、健康診断を受けている犬の飼い主のうち約 7%は、CT・MRI、超音波検査などの高度な検査を受けたと答えており、「自分自身の健康よりも愛犬の健康が気になる」という声も聞かれました。

(参考) 人間の健診や人間ドックの受診率 60.1% (平成 16 年 国民生活基礎調査の概況 厚生労働省)

| どうぶつ種別健康診断受診率 | | |
|---------------|--------|---------|
| | 受診率 | 平均金額 |
| うさぎ | 40.00% | 2,455 円 |
| 犬 | 36.30% | 6,487 円 |
| フェレット | 33.30% | 3,040 円 |
| 猫 | 26.90% | 5,257 円 |

| 犬の高度健診受診率 | |
|------------|-------|
| 検査 | 受診率 |
| 超音波(エコー)検査 | 4.50% |
| 心電図 | 2.60% |
| CT・MRI | 0.70% |

どうぶつは、病気になっても症状が分かりづらいことが多く、飼い主が病気に気付いたときには、病状が進んでいるというケースが多く見受けられます。定期的に健康診断

を受診していれば、病気の早期発見につながり、大事に至る前に対応することができます。

どうぶつの一年は、人間の数年に相当するといわれることから、ペットの健康診断は人間以上に重要です。定期的に健康診断を受けペットの健康を守りましょう。

<アンケート集計方法>

全国のモニターに対し、インターネット上で実施。(サンプル数 353 名)